

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-	
		家電量販店（店員）	単価の動き	・ 今月は来客数が少し伸び、単価も上がってきた。液晶TV、洗乾機、DVDレコーダなどが良く売れた。	
		家電量販店（地区統括部長）	販売量の動き	・ 売上が前年比105%と回復してきた。AV商品、特に薄型テレビが好調で、単価も上がってきている。さらに、各社の新製品導入により市況が活発になってきている。	
		住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・ ようやく雪が降ったことで、季節商材が一気に盛り上がる。バーゲンや特売も含めて、冬物商戦として久しぶりのにぎわいを感じる。	
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ 今月は衆院議員選挙があったが、選挙後はその反動から来客数が急に伸び、売上・単価ともに伸びた。	
	変わらない		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・ これまでの経費削減一辺倒から、IT技術に興味を示す企業が徐々に見られるようになった。特に卸売業・小売業にそうした動きが微かに見え始めている。
			商店街（代表者）	販売量の動き	・ 今月は例年より暖かく、婦人衣料店では冬物重衣料の動きが鈍く、前年割れになりそうである。一方、大型店については大手百貨店の閉店に伴う改装効果が持続しており、前年比で5%前後のプラスとなっている。
			商店街（代表者）	販売量の動き	・ 平日は中心部、休日は郊外店という人の流れが固定化されてきている。
			商店街（代表者）	お客様の様子	・ 季節商品に対する反応は少しずつ良くなっていると感じるが、客の慎重な買い方は依然として変わらない。
			商店街（代表者）	お客様の様子	・ 防寒物の時期ということで、単価が確実に上がっている一方で、客の購買欲は今ひとつであり、去年のコート販売のピーク時のような様子がみられない。
			一般小売店〔酒〕（経営者）	お客様の様子	・ 客の安値志向が依然として強く、単価が上がってこない。
			百貨店（売場主任）	単価の動き	・ 来客数は前年並みに推移しているが、単価が下がっている。その要因の一つとして、コート・ジャケット類の重衣料の不調や、12月に入るとクリアランスセールが行われるので、その値下げ待ちの状況が考えられる。
			百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・ 前年が月初めより気温が低下したのに対して、今年11月の前半の気温が高かったため、アウターの動きが鈍かった。
			スーパー（店長）	単価の動き	・ 来客数は伸びているものの、単価の低い状況が相変わらず続いている。
			乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ 新型車の効果で来客数は増えているが、なかなか成約までいかない。
			乗用車販売店（役員）	お客様の様子	・ 受注量が伸び悩み、売上金額の回復がみられない。サービス工場も車検獲得の競争に伴う単価の減少が止まらない。
			住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・ 相変わらず来客数が悪く、年末商戦に客足が戻ってくるかが不安である。商店街全体としても、年末現金つかみ取りのバーゲンを行っているが、抽選券の発行状況が悪いようで心配である。
			その他専門店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・ ようやく来客数の減少に底がみえてきたが、利益を生ずるのに必要な絶対数を大きく下回っているため、現在の顧客の来店リピート率を上げる戦略が求められている。
			その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	単価の動き	・ セルフスタンドの進出により、価格競争に拍車がかかり、販売単価が下落している。灯油については、タンク火災の影響により灯油不足と価格の高騰が懸念されたが、11月は暖冬だったため販売量も少なく、影響はなかった。
			高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・ 今月に入ってから来客数の落ち込みがひどい。客単価は微増であるものの、来客数は前年比で10%ほどの減少となっており、ランチタイムも満席とならない状況である。

	一般レストラン（スタッフ）	競争相手の様子	・競合店の店長と話をする、前年の売上を下回ることが当たり前になっており、前年比で90%以上あればよしとする雰囲気となっている。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・予算の範囲内で広告・宣伝、営業をかけているが、出足が悪い。観楓会・社員旅行など、地元の行事も規模、陣容ともに小粒になっている。毎年、利用のあった客のなかには、行事を中止しているところもある。道外客についても、バス1台当たりの客数が1～2割程度減っており、相変わらず厳しい状況が続いている。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・依然として、大きな変化はなく推移している。国内は個人旅行が順調であったが、法人は動きがなく、海外旅行とともに低迷を続けている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・暖冬で降雪がないせいか、客はバス・地下鉄などの公共交通機関を選択しているようだ。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・さまざまな客へのアプローチは行っているが、状況は変わらない。
やや悪くなっている	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・今月は暖冬のため防寒物が売れない。特にコート関連が厳しい。
	スーパー（店長）	単価の動き	・引き続き、単価の低下が続いている。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・例年と比べ降雪が遅れており、そのためか衣料品の不振が続いている。特にコート・ジャケットなど重衣料が苦戦しており、シューズ関連も同様に不振が続いている。冷夏の影響で米などの値上がりが懸念されており、販売件数のダウンが発生している。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・売上は前年比で90%程度となっている。主力の食品は上期の水準まで回復したものの、衣料品は気温が高めに推移したことや降雪が遅れている影響から前年を10%下回っているほか、旅行部門についても低調に推移している。
	スーパー（店長）	単価の動き	・食品の客単価が若干ではあるが低下している。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客の入りはあるが、単価が下がっているので前年並みの売上が確保できていない。
	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・昨年に比べて商品内容も良くなり、価格も据え置きとなっているものの、販売点数が伸びない。
	衣料品専門店（店員）	来客数の動き	・平日の来店数は変わらないが、週末の来客数が減っている。仕事が休みの日に買物をするという人がかなり少なくなったように感じる。
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・毎年好評である11月のフェアは全くの不振であった。ディナーや個室の売上も悪く、食事より飲物の落ち込みが顕著である。会社勤めの顧客はサービス残業が相当増え、予約してまで外食ができないようである。その一方で、主婦層からは休日の増えた夫が家にいるので困るといった話も聞く。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・好調に推移してきた国内旅行の受注が10月下旬から11月中旬にかけて前年を下回った。海外旅行は依然として受注を押し上げる要因がなく、停滞したままである。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・来年1月のツアーの発売が開始されたが、昨年より15%以上も申し込み人員が少ない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・例年に比べて天気が良すぎるためか、日中の動きが悪い。また、夜の人出も非常に少ない。一方、ホテルは休日は客が入っているが、普段は入らない状態なので、このままだと最悪の状況になる。
	観光名所（役員）	来客数の動き	・ロープウェイの利用客数、レストランの来客数とも微減で推移しており、弱含みである。
	美容室（経営者）	それ以外	・サービス・飲食関係など、商店街全体での来客動向が悪くなってきている。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・購買力の低下と単価の低下を強く感じる。	
悪くなっている	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車が発売されたが、前年の60%前後の需要しかなく、大変悪い状況である。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・今月は選挙があったが、寒さのためか客足も鈍く、思った以上に良くない。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・今月は選挙があり、選挙中は暇だと思っていたが、選挙後も繁華街全体が暇なようであった。

		タクシー運転手	販売量の動き	・今月は選挙があり、また暖かく、雪もなかったの で、例年に比べると極端にタクシーの利用客が少 ない。規制緩和で地域内のタクシーの台数が増え ているせいもあるが、売上も前年より10%以上 のマイナスとなっており、過去最大のものとなっ ている。
		住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・マイホームセンターに来場する客が著しく減 っている。
企業 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・北海道において水産物はいずれも大漁であつた ため、加工原魚の価格が安くなったことに伴い、 製品価格も安くなっている。単価ダウンの影響で 売上金額は減少しているが、数量的には増加して おり、新たな消費が拡大している。
		食料品製造業 (団体役員)	受注量や販売量 の動き	・年末需要向けの受注量が増加している。また、 購入単位は少量でも高級品ギフトへの購買志向 も強い。この時期より年末に向け、短期パート 従業員採用の採用と残業により受注納期に対応 する企業が多く、金融機関の年末向け資金対応 も落ち着いており、企業が困窮する状況とはな らない。
		金属製品製造業 (統括)	受注量や販売量 の動き	・住宅着工棟数も前年並みになり、受注量も増 えてきた。
		輸送業(支店 長)	取引先の様子	・従来型の工場設備とは異なり、リサイクル等 を含めた新規の工場建設案件が出てきた。産業 構造が変化してきていることを思わせる事例とい える。
		通信業(営業 担当)	取引先の様子	・設備費用が多少かさんでも目新しいシステム を導入し、自社の競争力強化・新ビジネス参入 に努めようとする動きがみられる。
	変わらない	輸送業(営業 担当)	取引先の様子	・紙パルプメーカーは、内需の低迷から東南ア ジア向けの輸出に振り替えて、生産量の維持を 図っている。
		通信業(営業 担当)	受注量や販売量 の動き	・受注量自体は変わらないが、投資に対する検 討をしている客は増えている。
		金融業(企画 担当)	それ以外	・融資拡大に注力していることもあり、小口運 転資金の需要はかなり目につくが、設備資金の 需要は少ない。
		司法書士	取引先の様子	・不動産関連、建築関連業界は、わずかなが ら上向き傾向にあるように見受けられる。
その他非製造業 [機械卸売] (従業員)		取引先の様子	・建築にかかる鉄骨製作現場は仕事が一段落 しており、残業もなく、工場内外の清掃や機械 整備をしている。一方で、橋梁にかかる鉄骨製 作現場は納期に追われ、短期的ではあるが忙し い状況にある。	
その他企業[コ ンベンション担 当](従業員)		受注量や販売量 の動き	・忘年会、新年会の動きに大きな変化がない。	
やや悪く なっている				
悪く なっている				
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている			
	変わらない	人材派遣会社 (社員)	雇用形態の様子	・正社員の中途採用については、求人ニーズ 自体は極端に減ってはいないものの、採用基準 はかなり高く、なかなか採用に結びつかない。 企業は採用に当たり慎重さが変わっていない。 また、派遣の拡大が現状も続いており、これ についても企業の人件費対策と考えられる。
		求人情報誌製 作会社(編集者)	雇用形態の様子	・試し期間を経たからの正社員登用も含めて だが、常用雇用求人が若干増加してきた。た だし、全体的にはアルバイト・パートなど臨 時雇用の求人が多い。
		求人情報誌製 作会社(編集者)	求人数の動き	・介護・病院系の求人が依然として好調に 推移しているが、その他の業種に変化はみら れない。
		新聞社[求人 広告](担当者)	それ以外	・土建関係は十勝沖地震の復旧工事でやや潤 っているが、総体的な動きは良くない。
新聞社[求人 広告](担当者)	周辺企業の様子	・11月から年末にかけての求人広告需要の 伸びが昨年と比較して鈍化している。		

	職業安定所（職員）	それ以外	・介護・看護関係の派遣の求人、パート店員の求人の伸びがみられるが、低賃金ということで労働条件上のミスマッチがみられる。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は前年と比べ0.01ポイント下回った。また、新規求人の4割近くがパート求人となっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で増加しているが、新規求人数に占めるパートの割合も増加傾向にある。
やや悪くなっている			
悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比、前月比とも減少している。とりわけ前年比での減少は3か月ぶりである。